

工法名	工法概要	新技術・新工法
登録番号	(工法説明) ・橋梁用伸縮継手装置において適用する埋設ジョイントです。	 
16026	(特徴)	
MM-ジョイント・DS型	<ul style="list-style-type: none"> ・上部舗装部に付着性が強い特殊性合材を使用し、床版上にゴムシートを敷設することにより低温時に優れた伸縮性の特性を持ちます。 ・特殊合材とゴムシートによりスムーズに伸縮に対応することができ、ジョイント端部のクラックの発生を低減できます。 ・特殊合材（高粘弾性）であるため、プライマーが不要となり作業時間が短縮できます。 (効果) ・品質・出来形、経済性、県産資材活用	
登録番号	(工法説明) ・側溝蓋による修繕の技術。	
16027	(特徴)	
ECONBI工法	<ul style="list-style-type: none"> ・ECONBI工法は、主に側溝蓋掛け部の破損に伴う側溝蓋等の補修に際して、従来の永久型枠及びコンクリートを使用した暗渠化工法から、既存側溝にプレキャスト化された蓋と充填モルタルを使用し側溝の補修を行うもので、コンクリート養生等の必要がなく即日開放が可能なおうえ、本体の取り壊しが必要なく通行障害及び振動、騒音の問題を解消できる工法です。 (効果) ・工程、品質、安全性、施工性、耐久性。	
登録番号	(工法説明) ・橋梁の上部構造と下部構造を剛結一体化させ、門型ラーメン構造の橋梁にする技術。	
17028	(特徴)	
イーザーラーメン橋 (H鋼桁埋込RC複合門型ラーメン橋)	<ul style="list-style-type: none"> ・上下部剛結一体化させる門型ラーメン橋では単純構造の橋梁に比べて杭基礎本数の低減、支承や落橋防止装置の省略、下部工サイズの縮小などが可能となり、建設コストの縮減が期待できる。門型ラーメン構造であるので従来工法に比べて耐震性に優れる。伸縮装置が不要となるため維持管理コストが低減できる。伸縮装置がないため騒音、振動を大幅に低減でき、低桁高により周辺取り付け道路の高上げ等も減少し、周辺環境への影響を低減することができる。 (効果) ・経済性、施工性、耐久性、環境（NETISによる技術の位置付け） ・活用促進技術（有用な新技術）	